

2022(令和4)年度

松山大学・カルスポ公開講座

「一般教養」

「地域の取り組みと知的営みとしての学び」

受講案内



花園通り

主催

公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団、松山大学



〒790-0012 愛媛県松山市湊町七丁目5番地
(松山市総合コミュニティセンター内)
TEL089-921-8222
<https://www.cul-spo.or.jp/>



〒790-8578 松山市文京町4番地2
TEL089-925-7111 (代表)
<https://www.matsuyama-u.ac.jp/>

学び舎元ひめ 悠々大学

ご 案 内

「地域の取り組みと知的営みとしての学び」

松山大学は1923（大正12）年に設置された、旧制松山高等商業学校を前身とし、四国のリーディング・ユニバーシティとして、5学部6学科、大学院6研究科を擁する学生数約5,600人の中規模私立総合大学となり現在に至っています。いよいよ来年2023（令和5）年には100周年を迎えます。

昔も今も大学の重要な役割の一つが研究とともに人材育成であることは言うまでもありません。しかし近年において大学を取り巻く環境は大きく変わってきました。少子高齢化の進展とリカレント教育の広がりです。「人生100年時代」においては、学習が先で仕事は後ではなく、交互に、そしてときには同時並行で取り組むべきものになります。「学び直し」は適宜必要とされる知識と学習の更新作業であり、学び自体は年代を問わず、充実した人生を送るためには欠かせない知的営みといえます。

例年と同様、今年度におきましてもアカデミックな内容からカルチャー・スポーツまで、多方面から講師陣をお迎えし、新しい学びの場を提供いたします。皆さまのご参加をお待ちしております。

要 項

開 講 日	2022(令和4)年9月21日(水)～11月16日(水) 全8回 ※10月26日(水)除く
場 所	松山大学樋又キャンパス2階 H2A 教室
時 間	18:30～20:00
定 員	100名（受講希望者多数の場合は抽選とします）
受 講 料	3,000円(初回講義の際にお持ちください)※3,000円で8回の講座全てを受講できます。
対 象 者	松山市内に在住又は松山市内に勤務している人で18歳以上の方（学生は除く）
申 込 方 法	郵送での申し込み

はがきに次の事項を記載し、下記までお申し込みください。

①講座名（「松山大学・カルスポ公開講座」とご記入ください）

②氏名（ふりがな） **氏名のふりがなは必ずご記入ください。**

③性別、生年月日（西暦表記）

職業（a. 公務員 b. 会社員 c. 自営業 d. 主婦 e. アルバイト・パート
f. 契約社員（派遣・臨時含む） g. 無職 h. その他） **記号のみでも可。**

④自宅の郵便番号・住所・電話番号（携帯電話番号でも可）

⑤勤務先名（ふりがな）・郵便番号・住所・電話番号

（⑤は松山市外在住者のみ記入してください）

HPでの申し込み



松山大学ホームページ

<https://www.matsuyama-u.ac.jp/>

または

スマートフォンの方はこちらへ



申 込 先	〒790-8578 松山市文京町4-2 松山大学社会連携課
申 込 締 切	2022（令和4）年8月22日（月）必着
受 講 可 否 の お 知 ら せ	受講申込者数が定員を上回った場合は、抽選となります。受講の可否については締め切り後、申込者全員に対してお知らせします。 また、受講を許可された方には、あわせて受講のご案内をいたします。
修 了 証	所定の回数以上出席された方には修了証を発行します。
問 合 せ 先	松山大学社会連携課 村井・石川 TEL (089) 926-8246 E-mail: mu-renkei@matsuyama-u.jp ※受講料に関するお問合せ： 公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団 TEL (089) 921-8222

※お申し込みいただいた方の個人情報は、本講座に関する連絡業務および今後の松山大学・カルスポ公開講座のご案内のみに利用させていただきます。

◆ 新型コロナウイルス感染症への対応について ◆

開講の有無について

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、緊急事態宣言等により開講に変更が生じた場合には、松山大学ホームページにてお知らせいたします。

開講にあたっての 対策について



マスクの着用



手指の消毒



座席の間隔をあける



常時換気



検温



健康チェック

【ご自宅で事前に実施していただくこと】

プログラム

学び舎えひめ 対象講座

回数	日程	担当講師	テーマ・内容
1	9月21日 (水)	松山大学 経済学部 教授 松本 直樹	経済学と意思決定問題 仕事も娯楽も、日々の生活では様々な意思決定問題の連続です。その際の選択の基準とは何でしょうか。ゲーム理論と行動経済学を踏まえた上で、いろいろな事例に議論を応用しながら皆さんと一緒にこの種の問題を考えてみます。最後に全体をまとめながら直感的な解説も行います。
2	9月28日 (水)	ベルグアース株式会社 代表取締役社長 山口 一彦	農業に革命を興す！ 食糧を生産している農業者が『飯が食えない』という現実があります。1975年に就農し、家族中心でスタートさせました。雇用を拡大しながら、大きな責任とプレッシャーの中、個人事業主の限界を感じ、農業を会社形態でやる決心をし、1996年、従業員が100名になる頃、(有)山口園芸という法人を設立しました。組織作りをしながら権限を移譲し、会社の成長と事業の継続性について考えるようになり、株式市場から直接資金を集められる体制を作るべく、2001年にベルグアース(株)を設立し、2011年に株式上場をいたしました。日本中から若い社員が入ってきて、その社員の5年後、10年後、更には日本の農業の50年後を考え、農業を志す若い人を育てる会社でありたいと考えています。
3	10月5日 (水)	株式会社OKULAB 代表取締役 永松 修平	25年で約2倍に急成長のコインランドリー市場の可能性 銭湯の横にある昔ながらのコインランドリー。そんなイメージを覆しランドリー市場で急成長を続ける「Baluko Laundry Place(バルコランドリー プレイス)」。洗剤や空間へのこだわりで家事の1つ“洗濯”に新たな価値を提供しています。ジムやスーパー銭湯に併設した店舗や、社会福祉施設の一角をプロデュース。社会構造の変化と時代のニーズに合わせた新たなコインランドリーの取り組みをご紹介します。
4	10月12日 (水)	(公勤)松山市文化・ スポーツ振興財団 埋蔵文化財センター 啓発普及担当 加島 次郎	弥生人の行動復元 ～収蔵考古資料の再調査成果～ 埋蔵文化財は貴重な国民の共有財産です。大切に保存するとともに、できるだけ公開するなど活用に努める必要があります。松山市立埋蔵文化財センターでは、主に記録保存目的の発掘調査を実施して得られた貴重な埋蔵文化財の整理・分析を通じて、当時の人々の生活や行動様式などを明らかにし、速報的な現地説明会や、発掘調査報告書等で情報を公開しています。公開講座では、収蔵考古資料のうち、弥生時代を代表する“石庖丁”を理解するための視点をご紹介します。弥生人の行動復元を試みます。
5	10月19日 (水)	松山大学 薬学部 教授 玉井 栄治	ウイルスってなに？ 一昨年から新型コロナウイルスが世界的に猛威をふるっており、ウイルスに関心が高まっています。また、ウイルスに対する誤った知識や曖昧な知識は、誹謗中傷や生活ストレスを引き起こします。この講座では、ウイルスの基礎（ウイルスは生物ではない？ウイルスはどんな形？RNAウイルスとDNAウイルスとは？）やウイルスに対するお薬などのお話をいたします。ウイルスに対する正確な知識を得て快適な生活を送りましょう！
6	11月2日 (水)	株式会社わっか 代表取締役 村上 あらし	東京での起業、移住、愛媛での起業と魅力 学生時代のアフリカ放浪の旅や、東京でのIT系の会社の起業と売却、先祖の眠るしまなみ海道への移住とサイクリング・観光に関する施設の起業を中心に、外部から見た愛媛県の魅力や競争力をお話しし、皆様とコミュニケーションさせていただく講義です。世界65カ国を旅してきましたが、愛媛県はその中で一番魅力的です。中に住んでいるとわかりにくい地域の良さを、私の短い人生経験の視点で諸先輩方に対して甚だ恐縮ですがお伝えし、一方的な講義は苦手なので様々な意見交換ができればと思います。
7	11月9日 (水)	松山大学 経営学部 教授 檀 裕也	地域におけるeスポーツの社会貢献 ゲームに競技性を付加したeスポーツは、年齢・性別や障がいの有無を問わないインクルーシブ社会の実現に向けて期待されています。また、eスポーツによる地域活性化も全国各地で盛んに展開されています。本講義では、eスポーツの本質を理解した上で、Z世代にアプローチするマーケティング戦略として「愛南の真鯛」の消費拡大に取り組んだプロジェクトなど、若い感性に基づく発想や行動力によって成果を上げた活動について話します。
8	11月16日 (水)	松山大学 薬学部 准教授 渡邊 真一	今こそ考える感染対策 新型コロナウイルス感染症が世界へ広がってから2年あまりが経過しましたが、未だに日常生活や経済への影響は少なくありません。ただ、2年前と比べるとワクチン接種の普及や治療薬の登場など、徐々に以前の日常に近い状況になりつつあります。その上で改めて感染対策について考えることも必要ではないでしょうか。本講座では、基本的な感染予防対策や消毒薬の正しい使い方などについて、知識のアップデートも含めてお話しをしたいと思います。

本事業は公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団の委託事業として松山大学が実施しています。



本公開講座は愛媛県生涯学習センター「学び舎えひめ悠々大学」対象講座です。

■受講されるみなさんへ

<教室のご案内>

松山大学樋又キャンパス 2階 H2A教室

*教室を変更する際は、前回の講義時、あるいは当日掲示にてお知らせします。

なお、当日教室の分からない方は、正門・西門・樋又キャンパスの守衛室へお問い合わせください。

<駐車場のご案内>

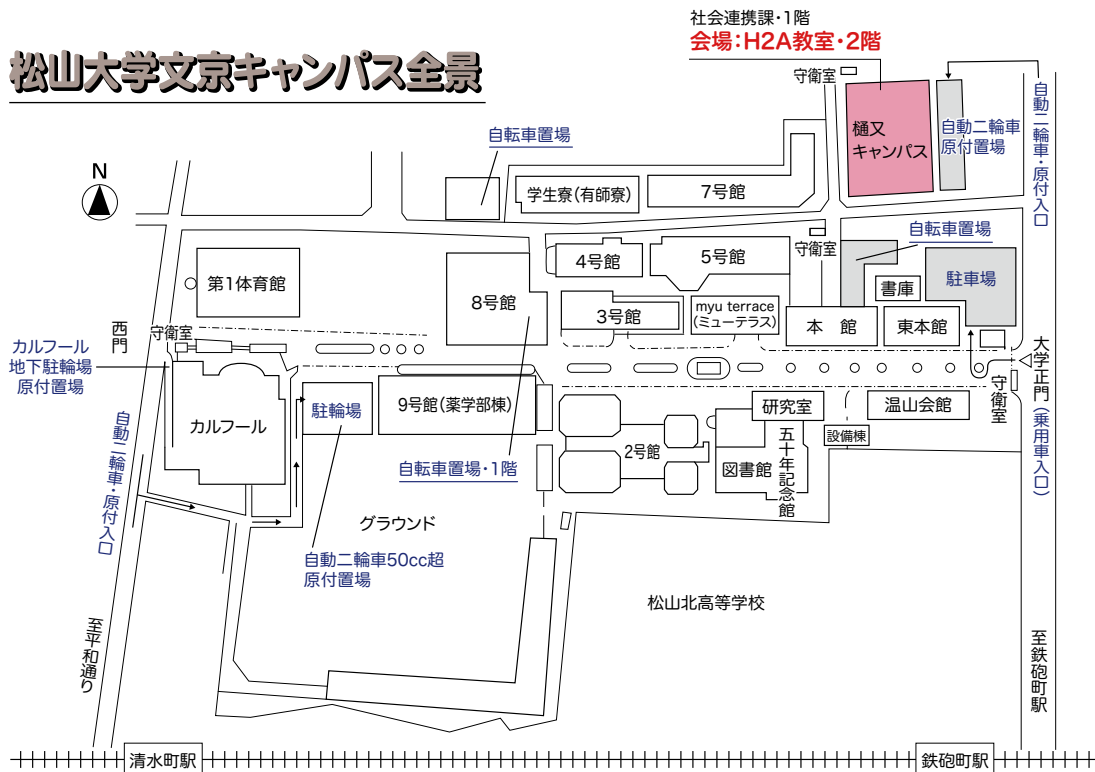
学内の駐車スペースには限りがあります。原則として公共交通機関をご利用ください。遠隔地、時間の関係で公共交通機関が利用できなくなる方、その他特別の事情がある方で、駐車を許可された方以外は学内に駐車できませんのであらかじめご了承ください。自転車・バイクをご利用の方は、所定の場所に駐輪してください。遵守できない方は乗り入れをお断りすることがあります。

*学内への駐車を希望される方は、第1回講義(9月21日)時に「学内自動車乗り入れ許可申請」を行ってください。許可者には「学内自動車乗り入れ許可証」を交付いたします。

<講義開始時間>

講義は午後6時30分から始まります。時間厳守でお願いします。

松山大学文京キャンパス全景



伊予鉄市内電車環状線「清水町駅」または「鉄砲町駅」下車徒歩 5 分